

日本最大の湖「琵琶湖」を取りまく風景や景色、生活文化は、四季や時間の移ろいの中で様々な表情を持っています。個人の余暇が多様化する中、観光客のニーズに合った滋賀ならではの観光が楽しめます。

## 1. 自然・景観

琵琶湖には、湖上から景色を満喫できる遊覧船があり、沖合いに浮かぶ島を訪問することができます。船上から四季折々の風景を楽しむことは、琵琶湖観光の醍醐味です。

また、周囲の山々からは琵琶湖を望めるポイントがたくさんあり、世界文化遺産に登録された比叡山延暦寺へ通じるドライブウェイや、琵琶湖の北端に突き出た半島を縦走する奥琵琶湖パークウェイの展望台から見る琵琶湖は、たいへん素晴らしい眺望です。

## 2. 歴史・文化

「近江を制するものは、天下を制す」と言われたように、琵琶湖の周辺には、戦国時代を中心に築城された城や城跡などの歴史遺産が数多くあります。物資の輸送や城の防衛のために琵琶湖や内湖を利用した国宝の彦根城天守からは琵琶湖を一望できます。

また、国内有数の舞台を有し、現代の芸術文化を発信するびわ湖ホールや、「湖と人間」をテーマに、琵琶湖について楽しみながら学ぶことができる琵琶湖博物館など、湖畔から多彩な文化観光を体感することができます。

## 3. 温泉

琵琶湖の周辺には、数々の温泉があり、琵琶湖畔に建つ温泉旅館やホテルでは、雄大な琵琶湖を眺めながら入浴できます。

最澄によって発見されたと伝えられるおごと温泉では、湖畔の温泉旅館やホテルのほか、足湯を楽しめる温泉公園もあります。

## 4. 「ビワイチ」サイクリング

滋賀県ならサイクリングを楽しみましょう。

琵琶湖を一周することの略称である「ビワイチ」。このうち、滋賀県では自転車で琵琶湖を一周すること、または、県内各地の観光地、景勝地等を周遊するサイクルツーリズムを推進しています。

琵琶湖を一周する「ビワイチ」ルートは、令和元年11月に、日本を代表し世界に誇りうるサイクリングルートとして、国土交通省から第1次「ナショナルサイクルルート」に指定されました。



滋賀県では、令和4年4月1日に「びわイチ推進条例」を施行し、「いいサイクリングの日」として11月3日を「びわイチの日」、同日から9日までを「びわイチ週間」として、県内各地でさまざまなサイクリングのイベントを実施しています。



写真2-9-1「びわイチ」サイクリング

## 5. イベント

「暁霧・海津大崎の岩礁」として琵琶湖八景の一つに数えられる海津大崎は、華麗なソメイヨシノが湖岸沿いの約4kmに渡って続き、毎年多くの花見客でにぎわいます。「日本のさくら名所100選」に選ばれるほど、その美しさには定評があります。

また、夏のびわ湖大花火大会は、大津港沖の湖上から打ち上げられ、湖面を彩る美しさは、多くの人に感動を与えます



写真2-9-2 びわ湖大花火大会

## 観光振興局

【びわイチ】琵琶湖は一周(南は瀬田唐橋まで)約200km。ゆっくり休憩し、名所に立ち寄り、美味しいものを味わうなど、滋賀の魅力を楽しむために1泊2日以上日程がおすすめ。